

平成28年度 学校関係者評価報告書

平成28年度の総括として業界関係者2名、在校生保護者2名の各評価委員、本校職員6名により学校自己評価を基に学校関係者評価委員会を開催しました。会議の概要、学校関係者の意見と学校の取り組みは次の通り。

I 概要

1. 日時

平成29年6月23日(金)15:00～17:40

2. 場所

専門学校 広島自動車大学校

3. 参加委員

外部関係者(学校関係者評価委員)

- ・一般社団法人 広島県自動車整備振興会 指導部 部長 山西 和夫 様
- ・トヨタカローラ広島株式会社 サービス部 技術課 次長 平尾 憲吾 様
- ・在校生保護者 2名

本校関係者

- ・本校職員 6名 (豊原、木原、富田、田中、小田、藤井)

4. タイムスケジュール

15:00～ 開会挨拶

15:10～ 授業、実習風景及び校内設備等の見学。卒業生アンケート・保護者アンケートの観覧。

16:15～ 学校関係者評価委員会会議。事前に配布している学校自己評価その他関係資料を基に委員からの学校評価(特に評価点の3点未満の項目について)質疑応答、意見交換。

II 学校関係者評価委員からの質問と学校からの回答と取り組み

1. 教育理念の項目について

[委員からの質問]

- (1) 特に問題点はない。

(学校側から)

- (1) 建学の精神、教育目的を基に、技能資格取得訓練を通して、まずは学生が心、すなわち考え方、心の持ち方を明確にし、具体的な行動の訓練を学校生活の中で取り入れる。つまり、お客様を意識した言動の取れる人材、更には社会人としての基本的な事柄を身につけ、実社会での即戦力化を目指した人材育成を行うとともに進化する技術及び企業ニーズに柔軟に対応して行く。
この理念を毎年夏休みに実施している保護者会にて保護者等に周知している。

2. 教育活動・教育環境・学習成果の項目について

[委員からの質問]

- (1) 授業評価の実施、評価体制はあるかの項目が 2.9 ですが何か実施されていますか。
(2) 施設・設備は教育上必要性に十分対応できるように整備されているかの評価が 2.6 と低い評価になっているが、どのようにお考えか。
(3) 各地で異常気象により避難勧告が出たという報道を目にするが、評価項目に防災に対する体制は整備されているかという項目が評価 2.8 と低いが、どのような対策を行われるのかお聞きしたい。
(4) 卒業生の社会的な活躍や評価を把握しているか、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校教育活動の改善に活用されているかの評価が共に 2.7 点ですが、どのように改善されるのか。

(学校側からの回答)

- (1) 学生による授業評価アンケートを実施しており評価の低い項目については、29年度より新たに始めた教職員の自己申告目標の中に取り入れるようにしております。
- (2) 校舎は古くなっていますが、安全面等を考慮し適宜補修や修理を施しております。設備においては教科書との照合を行いながら教材をそろえています。金銭的な事もあり、必要性、重要性を見極め計画的に購入を進めております。
最近では、28年度より日産自動車(株)の指定校に認定され、新型車やCVTなどの教材提供を受け授業で活用しています。また更に授業内容を充実させるためWi-Fiを導入する予定です。
- (3) 防災避難マップを各教室に掲示するとともに、入学時のオリエンテーションでは避難場所に実際に学生を案内し確認してもらいました。また、学校近くのアパートで一人暮らしを行っている学生はアパートからの避難場所も確認をさせています。
その他、28年度は消防署に依頼して教職員での消化訓練を行いました。避難経路についても問題の箇所を改善した避難経路図を新たに作成しており、その避難経路図に沿った学生・職員合同での避難訓練を計画し、29年5月17日に実施いたしました。
- (4) 就職担当者による10年前の卒業生からの就職先在籍調査を行い今回の資料にも調査結果報告書を添付しております。
卒業生の活躍や評価は、就職担当者が企業訪問時に情報を入手するようにしており、数多くの卒業生が技術コンクールの選手として活躍している様子等、朝礼で発表しております。
マツダ自動車の全国サービス技術大会を、学生全員に見学させてモチベーションアップを図っています。また、広島で行われる各自動車メーカーの技術コンクールに卒業生が選手として出場する場合はできるだけ応援に行くよう心がけており、卒業生の活躍が新聞や雑誌の記事に取り上げられたことなどの情報を在學生に紹介しております。
卒業生の入社後の技術面やモラル・マナー等の評価を把握し、評価の低い点をカリキュラムに反映させるため、企業へのアンケートを作成し実施します。

3. 学生支援

[委員からの質問]

- (1) 学生に対する経済的支援体制や課外活動支援はどのような事をされていますか。
- (2) 学生の健康管理を担う体制があるかという項目の評価点が2.4と非常に低いが、何か対策を考えられていますか。
- (3) 卒業生への支援体制があるかという項目の評価点が2.6と低いが、卒業生への支援は難しいですか。

(学校側からの回答)

- (1) 日本学生支援機構奨学金・企業奨学金及び各種教育ローンを紹介しており、説明会や事務手続きを行っております。
遠方からの学生支援のため、学生寮の値下げや住居補助制度を開始しました。
JR広島駅から学校までの無料送迎バスを運行し通学にかかる金銭的負担の軽減を行っております。
課外活動については、カート同好会の活動には必ず職員2名以上が同行し安全面に配慮するとともに、部品や燃料の支援を行っていますので、会員の負担はかなり軽減されているものと思われます。
- (2) 毎年、春に健康診断を実施しているが、保健室が無いためどうしても評価点は低くなってしまいますが、気分が悪くなった時等に横になれるようソファベッドを購入し、怪我などで足の悪い学生が困らないように一部ではありますがトイレを洋式に改装いたしました。毎日の朝夕のホームルームでは担任が健康状態の確認を行っています。また、職員室に近隣の病院の連絡先と地図の一覧表を掲示しておりましたが、各教室にも配置し学生が日ごろから確認できるようにしました。
また、昼食時にカップ麺を食べている学生が多く見うけられますが、健康面を考慮し、なるべくバランスの良い食事をとるように促しています。
- (3) 卒業生の再就職の斡旋や相談には就職担当及び各教員が個別に対応しています。また学校ホームページに卒業生相談窓口を開設し、卒業後も色々な相談及び支援を行える体制を整えました。
1級コースは卒業後も口述試験の対策授業を実施しています。

4. 学校運営

[委員からの質問]

- (1) 特に問題点は無い。

5. 学生の受け入れ募集

[委員からの質問]

- (1) 特に問題点は無い。

6. 財務・法令順守・社会貢献

[委員からの質問]

- (1) 社会貢献・地域貢献の項目で学生のボランティア活動奨励、支援しているかの評価が2.0、地域に対する公開講座・教育訓練の受託を積極的に実施しているかの評価も2.0と低いがどうされるのか。

(学校側からの回答)

- (1) 現在行っているボランティア活動は毎年4月に全学生による献血を行っています。また夏休み前の大掃除では、学校横の側溝の溝掃除を行っています。
リクレーションで利用する近くの公園への行き帰りにはゴミ拾いをしながら行くようにしています。
評価が低いので、献血回数を増やすという意見も出たのですが、学生に強制することもできませんので、今までのように献血は年に一回にしております。地域に対する公開講座・教育訓練の受託に関しては、昨年8月に高等学校からエンジンの分解組み付けの実習依頼があり実施いたしました。今後もこのような依頼がありましたら積極的に受けたいと考えています。

7. その他の意見交換

【保護者委員からの意見】

- (1) 御校1級、2級の国家試験の合格率は全国的に見ても飛びぬけていると思います。特に1級の合格率はすごい一言です。ただ入学者数が年々減っていますが要因はなんですか。何か対策を考えないとこのままでは、学校の経営にも影響しかねないと思いますが。

(学校からの回答)

- (1) ご指摘のとおり、定員充足率はここ数年低下しております。少子化や小・中・高生の自動車に対する興味の薄れ、大学全入時代と要因は多々ありますが、高校への出張授業やガイダンスなど積極的に取り組んでいますが、なかなか思うような結果は出ておりません。
すでに就職を考えている高校生に対しても、一度オープンキャンパスに参加してもらい、誰でも知っているような有名企業への安定就職が出来ることや国家試験の合格率の良さなどをアピールし本校に興味をもってもらえるよう努力しております。また、高校1年2年生を対象とした学校見学の対応や機会があれば中学生や小学生にまで、早くから自動車に興味を持ってもらえるような活動をより積極的に実施していきます。また、大学への進学を考えている学生には、本校の1級コースは大学への編入で自動車整備士の1級資格と大学卒業(学士)の資格を得ることが出来る事をさらにアピールするようにしています。
また、企業奨学金などを充実させ保護者の金銭面に関する不安も解消できればと考えております。

【企業委員からの質問】

- (1) 企業奨学金に関してですが、他の専門学校からも企業奨学金の話はいただいております。今後の検討材料にしていかなければならないと考えているが、御校に入学を考えている学生の中に毎年何人ぐらい金銭面がネックになり進学をあきらめた学生がいるのですか。

(学校からの回答)

- (1) 本校に出願した後に金銭面の都合で辞退することは少ないです。が、広報の者が高校訪問をした際に1年次や2年次にオープンキャンパスに参加してくれた学生を訪ねると、車関係に興味をもっていたが専門学校に進学するとなるとかなりの金銭的な負担となるので、保護者の意見も含めて就職しか選択肢がない。と言った話がよく出てきます。
学生本人は働きながら資格を取得していくつもりでいるようですが、実務経験を積み3級からチャレンジしなければいけないことを多くの学生が知りません。
そのような事を高校訪問時やガイダンスなどで知ってもらい、専門学校で資格を取得する事をアピールしていきたいと考えています。その進学する手段として学生支援機構や企業の奨学金という選択肢をより多く提示していきたいと思っておりますので、是非奨学金制度の導入のご検討をお願いいたします。

【企業委員からのお言葉】

- (1) 昼食時のカップ麺についてですが、近くにコンビニやスーパーがあるので一度管理栄養士に依頼して、どのようなものが好ましいのか、聞いてみてはいかがでしょうか。
- (2) トイレを洋式にして、学生の反応はどうですか。

(学校からの回答)

- (1) カップ麺は安価で量的にも満腹感が得られ、寒い時期には体も温まりますので多くの学生が昼食に選んでいるようです。しかし学生の健康管理の面からすれば、カップ麺を毎日食べることはよくないと思いますし、学生本人も少なからずその点は認識していると思います。本校としてもバランスのとれた食事を心がけ、自分の体調管理を怠らぬように指導していこうと思っています。特に一人暮らしの学生には朝、夕の食事についても担任がある程度把握しアドバイスできるように努めます。
- (2) 学生の反応は良いです。予算の関係ですべてが洋式に改装ではないので、順次改装していく予定です。トイレに限らず、学生が少しでも快適に生活できるよう色々な所に目を向けて改善していきます。

8. 最後に

[委員から]

- (1) 今回の質問に対する的確な回答と改善内容をお聞きし、学校全体で一生懸命 29 年度に向け取り組んでおられる事が良く分かりました。今後も学生の為にさらに良い学校にしてください。
- (2) 御校の卒業生は新人研修でも他を引っ張ってくれるほど躰ができていますのでありがたいです。みなさんお忙しいとは思いますが、これまでと同様によりよい学生を数多く自動車業界に送り込んで下さい。
- (3) 来年の会議報告では、少しでも定員充足率のアップを期待しております。

III 総評

上記の内容は委員からの質問に対する学校側の回答のみ記載させて頂きましたが、これ以外にも数多くの意見やお褒めの言葉を頂く事ができ、本校の教育活動は適正であると考えます。

今後とも時代に即した教育活動・学校運営を行い、**共育**(我々教職員は、多くの事柄を学生から学び教え、共に育む)活動の改善に取り組んでいく。

以上